

大伴小だより



富田林市立大伴小学校 令和3年1月28日(木) 2月号

「光陰矢の如し」～時間の心理的長さ～ 校長 堤 周作

新型コロナウイルス感染拡大について、関西にも13日に2度目の緊急事態宣言が発出され、4～5月の1度目の宣言時より深刻な状況です。冬休み中は富田林市においても、感染者数が10人や11人の日があり「大伴の子どもたちやご家族、先生たちは大丈夫かなあ」と心配していました。本校でも新年早々冬休み中から対応を協議し、中止せざるを得ない取組みや感染防止対策を施しながら実施する取組みなどを精査していました。感染状況による急な変更もありますが、今年も「一生の思い出に残る行事や学校生活に潤いをもたらす行事は、縮小や感染予防対策を施しながら実施を模索する」という本校の方針にご理解を賜りますようお願い申し上げます。

そんな中、全学年で距離を開けて縄跳びを、2年生は九九の暗唱に努力しています。九九の点検カードには、担任の先生・校務員の松井さん・4年算数の南先生・生活指導の白井先生・教頭先生・校長の欄があり、子どもたちは緊張しながら合格をめざして職員室や校務員室、校長室に訪れます。九九は算数の基本中の基本。学校あげて2年生児童を指導できるのが大伴小の強みです。

さて、8日の3学期始業式(放送)で、「時間の心理的な長さ」について話しました。(以下要約)

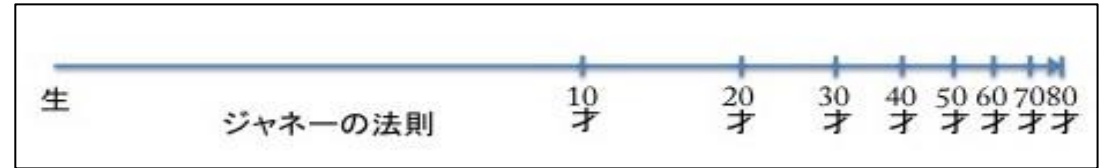
みなさんは年を取るたびに、時間が過ぎるのが早く感じないでしょうか？3～6年生の人たちは1年生の時より、1、2年生の人たちなら3、4歳の頃より、1日や1年が短く感じませんか。こんな感じ方の法則をフランスの学者ジャンネーという人が見つけました(「時間の心理的長さは年齢の逆数に比例する」)。

例えば6歳(1年生)の人と12歳(6年生)の人を比べると、12歳は6歳より時間が2倍の速さで過ぎていく。私は50歳過ぎなので、私は10歳(4年生)の人の5倍のスピードで時間が過ぎると感じている。先生たち同士もそう。私は20歳代の若い先生たちより、2倍位のスピードで季節や時間が過ぎている。

なぜそう感じるかという、年をとっていくと先の見通しがつくからだと思う。1年生にとって小学校生活は初めてであり、3学期に何が起こるかわからない。でも2年生になると、3学期に一度経験しているからだいたい予想がつく。6年生は6回目だから慣れたもので、何が起こるかほとんど予想がつく。だから

時間が過ぎるのがとても早く感じるのだと考えられる。

各クラスの黒板に貼っているものをみてください。仮に、生まれてから80歳までの時間の感じ方を数直線で表してみるとこのような感じになります。



すると、生まれてから10歳で人生の体感時間の約半分の時間が過ぎ、20歳で約7割の時間が既に過ぎていきます。私は50歳を超えているので、私の人生の体感時間はあと約1割、もうあとちょっとしかありません。寂しいでしょ。悲しいでしょ。

同じように、3学期は1、2学期よりとても早く過ぎていきます。授業日も少なく50日(2月以降は35日)しかありません。学校にあと50回来たら、今のクラスは解散です。そして全員4月から、1つ上の学年になります。みんなには、学年が1つ自動的に上がるだけではなく心も態度も行動も1つ成長し、頼りがいのある人になってほしいです。3学期は、そのための準備の50日としてください。

そして、6年生は卒業まであと2か月とちょっと、授業日は46日(2月以降は31日)。小学校6年間の最後は、特に早く過ぎていきます。大伴小6年生の仲間や先生たちとで過ごす大切な1日1日、授業の1時間1時間、もう一生、二度とない小学校生活を味わい、大切に過ごしてください。

私から見たら、みなさんや若い先生たちは、まだまだ将来がある、時間がある、無限の可能性がある、うらやましい！人間みんなに平等に与えられた時間を大切に使うてください。若い頃の貴重な時間を、一生懸命に意味のある使い方をしてください。

ジャンネーの法則は科学的には証明されていません。しかし正しいかどうかは別として、年々時が経つのが早く感じようになるのは事実です。子どもたちに「時間がたっぷりあるのは今のうち。その時間を有効に使おう！」と訴えけるとともに、「残りの人生は少ない。だから一日一日を大切にしよう！」と自分自身にも言い聞かせています。

ほとんどの保護者の皆さんはきっと私より年下でしょう。年上目線で申し訳ないのですが、大変な毎日の中であっても子育てをできる皆さんがうらやましいです。子どもも成人過ぎるとドライになります。子育ても「光陰矢の如し」、瑞々しく何でも喜ぶ小学校期にたくさんの素敵な体験を積み重ねてあげてください。思春期・青春期の子育ては難しいけど、だんだん一丁前のことを言い始めるのも面白いですよ。皆さんにとっても一生、二度とない子育てを今、存分に楽しんでください！